

やってみる冬。～ワークショップ・レクチャーのご案内～

小野寺修二演劇ワークショップ ①土曜コース ②日曜コース

カンパニーデラシネラ小野寺修二の演劇ワークショップ。2月・3月には創作ワークショップも開催予定。

【日時】①11.26(土)14:00～17:00／②11.27(日)13:00～16:00
【会場】ギャラリー 【受付開始】10.7(金)
【講師】小野寺修二 【参加費】¥2,000
【定員】各日先着15名(高校生以上) 高校生¥1,000



小野寺修二

④能面ワークショップ

おめでたい黒色尉面の色付けを体験できます。
お正月飾りにどうぞ！

【日時】12.17(土)12:30～16:00(終了予定)
【会場】ギャラリー 【参加費】¥6,000(材料費含)
【講師】北澤秀太(能面師)【受付開始】10.17(月)
【定員】先着10名(中学生以上)



③木ノ下歌舞伎プレ講座

2023年2月26日(日)の木ノ下歌舞伎公演で上演する「姫桜東文章」をわかりやすくご案内！

【日時】12.2(金)19:00～20:30
【会場】練習室4 【定員】先着30名
【講師】木ノ下裕一 【参加費】¥500
(木ノ下歌舞伎主宰) 【受付開始】10.2(日)



木ノ下裕一

⑤狂言ワークショップ

笑いの伝統芸能・狂言を体験できます♪

【日時】2023.1.30(月)18:30～20:00
【会場】能楽堂 【受付開始】11.30(水)
【講師】高野和憲(狂言師)
【定員】先着20名(小学生以上)
【参加費】小中学生¥500 高校生以上¥1,500



りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

①カンパニーデラシネラ こども古典名作劇 『はだかの王様』



「はだかの王様」初演(高知県立美術館2021)

公演日
2023年
1月15日(日)15:00
会場:劇場(特設ステージ)

抽選で
ペア2組4名様

②N響メンバーによる金管五重奏 『The Chamber Brass』



公演日
2023年
1月22日(日)14:00
会場:コンサートホール

抽選で
ペア2組4名様

③Noism0+Noism1 新作 Der Wanderer - さすらい人



撮影:篠山紀信

公演日
2023年
2月3日(金)17:00
会場:スタジオB

抽選で
ペア2組4名様

応募方法:①ご希望の公演名②氏名③〒住所④電話番号⑤年齢⑥本誌を入手した場所⑦本誌へのご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.70プレゼント係」present@ryutopia.or.jp

応募者の中から抽選し、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。2022年11月30日(水)必着

お問い合わせ

休館日:毎月第2・第4月曜日、年末年始(12/29～1/3)
※祝日の場合はその翌日

■館内案内・プレイガイド	TEL.025-224-5622(11:00～19:00)
■チケット専用ダイヤル	TEL.025-224-5521(11:00～19:00)
■施設利用お問い合わせ	TEL.025-224-5621(9:30～18:00)
■N-PAC mate友の会事務局	TEL.025-224-5631(平日 10:00～18:00)
■事業企画部	TEL.025-224-7000(平日 10:00～18:00)

■新潟県民会館	TEL.025-228-4481
■音楽文化会館	TEL.025-224-5811

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館の他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、マリンピア日本海、ほんぼーと、新潟市美術館、新津美術館、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、長岡リリックホール、魚沼市小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
「りゅーとぴあマガジン」に関するお問い合わせは事業企画部 広報営業課まで
次号vol.71は2023年1月1日発行予定です。

新潟市芸術文化振興財団はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館を一体的に管理しています。

編集後記

サッカーJ2リーグのアルビレックス新潟が好調です。9月初旬時点で自動昇格圏内の2位をキープし、J1昇格が見えてきました。2001年のビッグスワン完成と共にアルビの人氣も急上昇し、地域に定着。ジュニアのためのサッカースクールやチアリーダーズスクールも開設されるなど、ワールドカップ基準のスタジアムと地元の誇りとなるプロサッカーチームのおかげで、新潟の都市としての魅力は大きく向上しました。1998年10月開館の当館も、年明けには25周年を迎えます。これからも魅力的な公演を多数ご用意し、アートを通じて新潟の都市としての魅力向上に寄与していきたいです。(N)



りゅーとぴあホールスポンサー(敬称略 50音順)



Ryutopia Magazine 2022 Autumn vol.70 2022年10月1日発行

発行:りゅーとぴあ 新潟市市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内)
編集:りゅーとぴあ 新潟市市民芸術文化会館 制作:株式会社 新交企画
デザイン:株式会社 U-STYLE 印刷:島津印刷株式会社



その先の感動へ

Known as "Ryutopia," the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh

plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users

alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.

vol. 70

2022 Autumn



Life with Performing Arts

これ以上ない人と一緒にデュオを組み、常に互いを触発しあえるのが最高です。

「100年に一度の原石」と称され、フラメンコギター界のニュースターとして話題の徳永兄弟。新潟市で幼少期からフラメンコギターに親しみ、中学卒業後は本場セビリアで修行。日本とスペインを拠点に活躍を続け、今年はデビュー10周年の記念イヤーを迎えました。地元新潟での公演を前に、お二人がインタビューに答えてくれました。

徳永兄弟(フラメンコギター) 徳永健太郎(兄・左)／徳永康次郎(弟・右)

幼少期より父 徳永武昭のもとフラメンコギターを始める。中学卒業後スペインへ渡りセビリアのクリスティーナヘレンフラメンコ芸術学院に入学。3年間で全課程修了し、その後同学院の講師として在籍。日本フラメンコ協会新人公演奨励賞ギター部門を兄弟共に2年連続受賞。兄は、スペインのアンダルシアフラメンコギターコンクール準優勝。弟は、2019年にスペインのバルセロナでの国際コンクールで4位に入賞。その後、「100年に一度の原石」と称され日本とスペインを行き来し、様々な舞台にて活躍し現在に至る。

——なぜ新潟市に生まれてフラメンコギターを？

健太郎 家庭環境ですね。父がフラメンコギタリストで、母がフラメンコダンサー。常に家ではフラメンコが流れ、物心ついたらギターを触っていました。また小さい頃からボランティア活動等で演奏機会があり、人前で弾くのがとにかく楽しくて。

康次郎 確か、幼稚園年長(5歳)くらいからフラメンコギターを弾き始めました。父や母のライブにもよくついていきましたし、常にフラメンコがそばにある家庭でした。

——二人とも中学卒業後、そのままフラメンコの本場スペインのセビリアへ留学されました。

健太郎 父親は英才教育を施さなかったので、「フラメンコギターで生きて行く!」との強い想いは当時ありませんでした。かといって他に好きなこともないし、とりあえず高校は出ておこうとの考えもなかった。その中で自分の一番の特技はギターだったのでそれを伸ばそう、ならば早いうちが良いと考えてスペインに留学しました。

康次郎 僕は高校に行こうと思っていました。ところが、兄が留学した翌年に一時帰国すると別人になっていて。尋常でなく弾けるようになった姿を見て、

「スペインに行けば一瞬で達人になれるのか!このままでは兄との差は広がる一方。絶対悔しい!」と思い、結局自分も高校ではなくスペインに行きました。

——スペインではどんな影響や収穫が？

健太郎 まず環境ですね。日本でフラメンコは特別な存在ですが、スペインでは日常。道端でもバルでも劇場でも、街中で演奏が繰り広げられている。本場スペイン人の演奏に触れて大きな衝撃を受け、俄然本気でフラメンコを学ぶ気になりました。

康次郎 留学先の学校で、一流の講師陣から教えるを受けたことが何よりの収穫です。凄いギタリストたちと毎日一緒に、それもアンプを通さない生音で弾いていると自分との差が明確に分かりました。「この差を埋めたい!」との想いが、今の自分を作ってくれたと考えています。また演奏時の音圧や空気感、動画では絶対に分からないこと。だからこそスペインで直に学べて、本当に良かったです。

——どうして兄弟でデュオを組もうと？

健太郎 スペインでも兄弟のギターデュオはまず聞かない。だから目立つし面白いかなと。でも一番は音楽性が合うからです。出だし、強弱、ニュアンス

の統一など、練習しなくても合わせられます。また互いに意見をストレートにぶつけ合えるところもいい。ダサイいときにはダサイいと正直に言い合えるのは兄弟ならではです。

康次郎 実は一人で弾くのはとても緊張します。だからデュオでの活動は自分に合っています。そして「こんなに巧いフラメンコギタリストはいない!」と思うほど兄を慕う一方で、兄は一番のライバルです。これ以上ない人と一緒にデュオを組み、常にお互いを触発しあえるのが最高ですね。

——プログラムのご紹介をお願いします。

健太郎 前半は、自分たちが作曲したオリジナル曲を中心にお届けします。後半は、11月に発売するニューアルバム「NEO FLAMENCO」に収録する曲を演奏します。タイトル通り、クラシック、ラテン音楽、ロック、ジャズなど、僕らなりのアレンジで多彩な作品をお贈りします。フラメンコ好きな方には面白い!と感じていただけたと思いますし、フラメンコを聴いたことがない方には名曲揃いでとても聴きやすいはずです。

——最後にメッセージをお願いします。

健太郎 新潟で生まれ、スペインを経てデビュー10周年を機に新潟へ帰り、それもりゅーとびあで演奏できるのは本当に嬉しいです。新潟はツアー最終日でもありますし、すべての感謝を込めて弾きたい。フラメンコファンの方はもちろん、そうでない方もぜひ聴きにきてください。

康次郎 小学生のときに、りゅーとびあコンサートホールの最前列でフラメンコギターの巨匠「ビセンテ・アミーゴ」を聴きました。ついにあの舞台へ自分も立てるのかと今から興奮しています。故郷新潟がとにかく大好き。ぜひ一緒に盛り上げてください!

©Toshinori Iida

才能の塊のようなKERAさんの新作。間違いなく面白い舞台になります!

劇作家・演出家のケラリーノ・サンドロヴィッチ(KERA)によるKERA・MAP第10回公演『しびれ雲』は、2016・2019年上演の『キネマと恋人』と同じ架空の島・梟島(ふくろうじま)が舞台。11月の東京・下北沢「本多劇場」を皮切りに全国公演が決定し、りゅーとびあでもクリスマスに上演されます。出演する井上芳雄さんに、お話を伺いました。

井上芳雄 INOUE Yoshio

1979年生まれ、福岡県出身。大学在学中の2000年に、ミュージカル『エリザベート』の皇太子ドルフ役で鮮烈なデビューを果たす。以降、舞台を中心に活躍し、「ミー&マイガール」、「モーツァルト!」、「ダディ・ロング・レッグズ」等、主役を務めたミュージカルは高い評価を受け、いずれも再演。『組曲虐殺』、『1984』、『黒蜥蜴』、『謎の変奏曲』、『陥没』、『奇蹟 miracle one-way ticket』などストリートプレイにも多数出演。りゅーとびあ製作公演『夜と霧』、『星の王子さま』、『十二番目の天使』(東宝との共同製作)に出演し、好評を博す。コンサート等の音楽活動にも臨む一方で映像にも活動の幅を広げ、俳優として高く評価されている。2013年芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。近年は司会業も意欲的に行っており、2022年4月から日本テレビ系「行列のできる相談所」MCを務めている。

取材・文／本間千英子

——演出のKERAさんとは2017年の『陥没』以来ですね。『しびれ雲』のオファーはいつごろですか？

2020年にもシス・カンパニー公演でKERAさん演出のチェーホフ『桜の園』に出演が決まっていたんです。その稽古時にKERAさんから直接、「次のKERA・MAPにも出てほしい!」とお声がけいただきました。うれしかったですね。結局、残念ながら『桜の園』は新型コロナウイルス感染拡大の影響で公演中止になってしまったので、今回はいっそう頑張りたいです。

——KERAさんに対しての印象は。

名前も風貌も個性的で、最初は「怖い人なのか」と思っていました。ところが『陥没』で一緒にしたら、優しいし、ちょっとナマケモノという動物に似ているなど(笑)。ハイレベルの音楽と演劇を続けている、才能の塊のような方です。『陥没』では驚きの連続で、「すごい人と仕事をしているんだ!」と実感しました。ぎりぎりまで台本が出来上がらなくて、稽古中は

Information

KERA・MAP #010「しびれ雲」

【日時】12月24日(土)14:00開演・25日(日)13:00開演
【会場】劇場 【作・演出】ケラリーノ・サンドロヴィッチ
【料金】全席指定 7,500円 U25 3,000円
クリスマスペアチケット 2枚で12,000円
【出演】井上芳雄 緒川たまき ともさかりえ 松尾 諭
三宅弘城 三上市朗 萩原聖人 ほか
■発売日 会員先行:10月2日(日) 一般:10月8日(土)



邪魔します」という気持ちがあって緊張するんですよ。今回はKERAさん作品の常連の方たちもいらっしやるし、新しい出会いで受ける刺激も期待しています。

——井上さんにとって演劇の魅力は。

演じる俳優だけでなく、舞台を観るお客さまも、作品に登場する人物の人生を追体験できる。演劇だから伝えられる熱量によって、人生が変わることがあります。また、演劇は一人ではできません。人間が好きじゃないと演劇に関わらないのではないかと、個人的には思いますね。

——りゅーとびあではクリスマス公演となります。お客さまへのメッセージを。

『しびれ雲』というタイトルは、クリスマスの演目としてはどうかな、とは思いますが(笑)。まだ台本もKERAさんの頭の中にしかない段階とはいえ、ものすごく面白い舞台になることは間違いありません。りゅーとびあは歴史のある劇場ですし、舞台に立つ度に、目の肥えた演劇のお客さまがたくさんいると肌で感じました。『しびれ雲』をりゅーとびあで公演するところには新型コロナウイルス感染拡大も収まり、新潟の日本酒で、みんなでクリスマスの乾杯ができることを願っています。KERAさんは現代の日本演劇界で最高レベルの作品を創造できる人。『しびれ雲』で、りゅーとびあのクリスマスをお楽しみいただきたいと思います。劇場でお待ちしております。

Information

結成10周年 徳永兄弟コンサートホールツアー2022

フラメンコギター・コンサート NEO FLAMENCO

【日時】12月14日(水)19:00開演 【会場】コンサートホール
【料金】全席指定 4,000円 【出演】徳永兄弟(フラメンコギター)
【プログラム】チック・コリア:SPAIN KAN(パーカッション)
ビゼー:「カルメン」より
徳永兄弟:Viajero del alma 魂の旅人 ほか



2022 AUTUMN/WINTER

RYUTOPIA NAVIGATION

心躍る季節となりました。

クリスマスや年末を彩るコンサートをあなたに。

ずっと忘れず大切にしたい。心に残る
日本語オペラを親子でお楽しみください

ロシアの壮大な森を舞台に繰り広げられる、厳しくも温かい十二人の月の精たちの物語。「時のふしぎ」「人と人とのつながり」や「大自然の奥深いとなみ」といった深いテーマを含みながらも、ユーモラスなキャラクターが次々と登場し、客席に笑いがあふれます。1台のピアノから生み出される楽しいメロディにのって歌ったり、踊ったり。役者の圧倒的な歌唱力に子どもだけでなく大人もぐいぐい引き込まれてしまいます。



©前澤英登

オペラシアターこんにゃく座 オペラ『森は生きている』(新演出)
■11.5(土)14:00開演 ■劇場専属オルガニスト・石丸由佳と女優・木村多江が贈る
パイプオルガンと少女の不思議な奇跡の物語

オルガンを通じて出会った石丸由佳と木村多江が、オルガン・クリスマスで初共演を果たします。教会のオルガンと触れ合った孤独な少女の不思議なお話を、オルガン演奏と朗読で紡ぐ今回のコンサート。ラジオドラマでも活躍する木村多江の朗読にのせ、ヴィジュアルディ「四季」より冬、新潟の作曲家・後藤 丹「懐かしい風景」から《雪の朝》や、もちろんクリスマスソングも演奏します! 冬の午後、心温まるひとときをお過ごしください。



石丸由佳(オルガン) 木村多江(朗読)

りゅーとびあオルガン・クリスマスコンサート2022
「世界にひとつの聖夜の物語!〜パイプオルガンと少女〜」
■12.10(土)15:00開演 ■コンサートホール

シルクのように柔らかな音色に陶酔。珠玉の名曲を、奥深く誠実な演奏で

2007年仙台国際音楽コンクールで優勝。これまでにベルリン交響楽団をはじめ、名だたるオーケストラと共演を果たしてきたピアニスト津田裕也。ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第14番「月光」や、ショパンの「幻想即興曲」など、名曲の数々をお届けします。静謐で温かみのある音色があやなす幻想の世界をお楽しみください。クリスマスより一足先に、心の中にそっとキャンドルを灯してくれることでしょう。



津田裕也(ピアノ)

りゅーとびあピアノ・リサイタルシリーズNo.44 津田裕也 ピアノ・リサイタル
■12.22(木)19:00開演 ■コンサートホール2022年度、秋～冬のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込のりゅーとびあ
カレンダーをご覧ください。心安らぐ「レクイエム」、そして情熱の「ボレロ」
藤岡幸夫指揮で贈る魂のプログラム!

プログラムの前半は、人間の“声”の美しさを感じるフォーレの2作品「パヴァーヌ」「レクイエム」をお届けします。神秘の響きに包まれる瞬間、心に癒しをもたらしてくれます。後半はラヴェルの傑作。メインの「ボレロ」は管弦楽作品の中でも人気の1曲。絶え間なく刻まれる一定のリズムの上に様々な楽器の音色が重なりあって、静かだった曲も気づけば熱量溢れるクライマックスへ。音楽がもつ無限の表現力を味わえる公演です。



藤岡幸夫(指揮) 砂川涼子(ソプラノ) 与那城敬(バリトン)

東京交響楽団 第129回新潟定期演奏会
■12.4(日)17:00開演 ■コンサートホール新潟出身のフラメンコ界のニュースター・
徳永兄弟から目が離せない!

「100年に一度の原石」と称され、日本とスペインを往来し、様々な舞台上で活躍中の徳永兄弟。結成10周年を迎える今年は、コンサートホールでその熱いパフォーマンスを繰り広げます。フラメンコのスタンダードナンバーはもちろん、クラシック、ラテン音楽、ロックなどジャンルを問わず様々な音楽を情熱的に、激しく、切なく、胸がうずくような“NEO FLAMENCO”へと昇華させます。



徳永兄弟(フラメンコギター) KAN(パーカッション)

結成10周年 徳永兄弟コンサートホールツアー2022
フラメンコギター・コンサート NEO FLAMENCO
■12.14(水)19:00開演 ■コンサートホールニイガタのアーティストによる
ニイガタのためのコンサート!!

コロナ禍でも新潟で生演奏を楽しむ良質な時間をすごしていただきたい!と開催してきた「ステイ・アット・ニイガタ・コンサート」。その想いを受け継ぎながら、新潟のアーティストたちが新潟の魅力を発信するコンサートへと新しく生まれ変わります。あなたのお気に入りのアーティストもきっと見つかるはず! 新潟愛あふれる熱演にご期待ください。

It's ニイガタ Concert 2023
■2023.1.14(土)・15(日)各日11:00・16:00開演 ■コンサートホール

ステージにただ一人、魂の直球勝負

昨年5月の「東京グランド・ソロイツwith横坂 源」で多くの聴衆を虜にした横坂 源が再びりゅーとびあコンサートホールに登場。圧倒的かつ超越した技巧と表現で、チェリストのバイブルとも言われるバッハ作曲の無伴奏チェロ組曲を演奏します。故郷新潟で満を持してお届けするオール・バッハ・プログラムは聴き逃せません!



横坂 源(チェロ)

りゅーとびあ会員限定コンサートVol.6 横坂 源 無伴奏チェロ・リサイタル
〜故郷新潟で贈る! オール・バッハ・プログラム〜
■2023.1.28(土)14:00開演 ■コンサートホール東響第122回で拍手喝采
コンサートホールに燦々と降り注ぐ美音をご堪能あれ!

2019年ロン・ティボー・クレスバン国際コンクール優勝。昨年9月の東響第122回新潟定期にソリストとして出演し、煌びやかな音色で聴衆を魅了したピアニスト三浦謙司。新潟のお客さまからの熱烈なラブコールに応え、今度はピアノ・リサイタルシリーズに再登場します。リストやショパンなど、ロマン派の作品を中心としたプログラムで、コンサートホールの静寂を端麗な音で満たしてくれるでしょう。輝くピアノの音色をご堪能ください。



三浦謙司(ピアノ)

りゅーとびあピアノ・リサイタルシリーズNo.45 三浦謙司 ピアノ・リサイタル
■2023.2.19(日)14:00開演 ■コンサートホール首都圏では完売必至のプレミア公演
極上の音色に包まれるN響メンバーの金管五重奏

NHK交響楽団の金管楽器奏者によって結成された「The Chamber Brass」の演奏会は、首都圏だとなかなかチケットが手に入らない大人気公演。ピギナーにも聴きやすいピアソラ「リベルタンゴ」から、金管五重奏オリジナル作品の中でも難曲として有名な、アーノルド「金管五重奏曲」といったマニア向けの作品をお届け。金管楽器だけだとどうさ? そんなことはありません。極上の金管五重奏は、柔らかな音色がします!



The Chamber Brass(金管五重奏)

りゅーとびあ室内楽シリーズNo.47
N響メンバーによる金管五重奏「The Chamber Brass」
■2023.1.22(日)14:00開演 ■コンサートホール新潟が誇るヴァイオリニスト奥村 愛、鍵富弦太郎が出演!
華麗で優雅な響き「ヴァイオリン四重奏」

2020年5月、新型コロナウイルスの感染拡大で中止になった「奥村 愛ヴァイオリン四重奏」が、メンバーを新たに再結成。新潟出身のヴァイオリニスト奥村 愛、鍵富弦太郎を中心に、西江辰郎、ビルマン聡平、ピアノには山中惇史と名手が勢揃い! ヴァイオリン4名とピアノという他ではなかなか聴けない編成です。当公演のために書かれた編曲や、ヴァイオリン4本のためのオリジナル作品まで、華やかで甘いヴァイオリンの音色をお楽しみください。



奥村 愛(ヴァイオリン)

りゅーとびあバレンタイン・コンサート 「奥村 愛ヴァイオリン四重奏」
■2023.2.12(日)14:00開演 ■コンサートホール“ストラディヴァリウス”が奏でる
マイハート・ウィル・ゴー・オン

「ニュー・シネマ・パラダイス」「タイタニック」「オペラ座の怪人」「ライオンキング」…人気の名作映画は必ず聴きごたえのある素晴らしい映画音楽がセットとなって制作されます。数々の名作映画音楽の聴きどころを名指揮者との歴史的な名演を繰返し演奏してきた輝かしいキャリアを持つメンバーを中心とするN響団友オーケストラの演奏でお楽しみください。活動写真弁士として人気の高い片岡一郎がご案内します。



永峰富志(ヴァイオリン) 片岡一郎(活動写真弁士)

CINEMA ON STRINGS ストリングオーケストラで聴く映画音楽
■10.29(土)15:00開演 ■新潟県民会館 大ホール

圧倒的な美しさと演技力！ 月城かなと・海乃美月がトップコンビとなって新潟初登場！

漫画の神様と称される手塚治虫氏の代表作の一つ「ブラック・ジャック」を、オリジナル脚本で描いた『ブラック・ジャック 危険な賭け』。スウィングのヒーロー誕生を祝うゴージャスなプロログをはじめ、時にスタイリッシュに時にソウルフルに、バラエティに富んだ場面で構成する魅惑のステージ『FULL SWING!』の2演目を上演。



宝塚歌劇団

宝塚歌劇月組全国ツアー 新潟公演
■11.23(水・祝)13:30・18:00開演 ■新潟県民会館 大ホール

全曲新曲で上演予定の革新的な意欲作

近年の鼓童の表現を手掛ける船橋裕一郎と、舞台の要となる楽曲を次々と生み出している住吉佑太が共に作り上げる、全曲新曲で上演予定の革新的な意欲作。夜明けから深夜まで変わり続ける自然界のリズム「日の出日の入り」「潮の満ち引き」「月の満ち欠け」。その長い周期感や、「数」に秘められた律動を太鼓音楽で探求する新作に、ぜひご期待ください。



©岡本隆史

鼓童ワン・アース・ツアー2022～ミチカケ
■11.26(土)・27(日)各日14:00開演 ■新潟県民会館 大ホール

KERA待望の新作公演が決定！ 井上芳雄ら魅力的なキャストが集結！

新作が常に待たれ、期待を裏切らない作品を届け続ける劇作家・演出家のケラリーノ・サンドロヴィッチ(KERA)。KERA待望の新作がクリスマスに上演決定！架空の島「梟島」を舞台に新たな物語が描かれます。出演は舞台・ドラマ・バラエティで大活躍中の井上芳雄を始め、緒川たまき、ともさかりえ、萩原聖人など幅広い俳優陣が集結！クリスマスに大切な方と一緒にご覧いただきたい、ペアチケットもご用意しました。今年のクリスマスはKERAで決まり！



井上芳雄

緒川たまき



ともさかりえ

萩原聖人

KERA・MAP #010「しびれ雲」
■12.24(土)14:00開演 12.25(日)13:00開演 ■劇場

現代社会に疑問を投げかける衝撃の舞台 坂本昌行が珠玉のヒューマンサスペンスに挑む！

全米演劇界で最も権威ある賞「トニー賞」の2004年最優秀作品賞にノミネートされたヒューマンサスペンスに、確かな演技力で評価の高い坂本昌行が挑みます。家庭内暴力、幼児虐待…社会に潜む病巣が表出し毎日のように報道される現代に、疑問を投げかける衝撃のストレートプレイを栗山民也の演出で上演。重厚で骨太な脚本と病的疾患による連続殺人を扱ったこの作品は、否応なく観る人の胸を締め付けることでしょう。

パルコ・プロデュース2022「凍える」
■11.26(土)・27(日)各日13:00開演 ■劇場

笑いも涙も、苦味も旨味も、 人生の味わいがたっぷりの豪華二本立て

舞台・テレビと活躍を続ける女優 白石加代子による朗読劇シリーズ。2014年秋に全99話を語り終えた「百物語」は、再演を熱望する声にこたえて2016年にアンコール公演として復活。その第四弾となる今回は、人気番組「世にも奇妙な物語」でドラマ化もされた朱川湊人作「葉の恋」と、ミステリー小説の巨匠・宮部みゆき作「小袖の手」の豪華二本立てでお贈りします。笑って泣いて背筋が凍る、極上のエンターテインメントをぜひ劇場で！



半村 良「筆筈」より

白石加代子「百物語」アンコール公演 第四弾
■12.10(土)14:00開演 ■劇場

クリスマスはマーシャと一緒に ふしぎの国で冒険しよう！

クリスマス・イヴの夜、人形たちのふしぎな世界に迷い込んだ少女マーシャは、くるみ割り王子に誘われて雪の国やお菓子の国を訪れます。バレエの本場ロシアの劇場スタッフによって製作された美術は、〈クリスマスツリーの中に入り込んでしまった、マーシャの驚き〉というコンセプトをみごとに実現。夢と幻想の世界で、東京バレエ団の粒ぞろいのダンサーたちが舞うステージをどうぞお楽しみください。



Kiyonori Hasagawa

東京バレエ団『くるみ割り人形』全2幕
■12.25(日)14:00開演 ■新潟県民会館 大ホール

能舞台に吊られた鐘にシテが飛び込む スペクトルな能「道成寺」を上演！

りゅうとびあ開館25周年の幕開けに、能の大曲「道成寺」を上演します。観世流では15年ぶりの新潟上演となります。能舞台中央に吊られる巨大な鐘の作り物が有名な、最も大がかりな能です。「安珍清姫伝説」をもとに激しい恋の執念を描いた作品で、シテと小鼓の一騎打ちともいえる〈乱拍子〉の張りつめた緊張感、その静寂を破る激しい〈急の舞〉、シテの白拍子が鐘に飛び込む〈鐘入り〉など、見どころの多い能の傑作です。



能「道成寺」

【日本全国 能楽キャラバン! in新潟】 観世流特別公演 ～道成寺～
■2023.1.7(土)13:00開演 ■能楽堂

野村万作、萬斎親子による 「人間賛歌の舞台芸術・狂言」をお楽しみください

人間国宝で文化功労者でもある野村万作と、能狂言「鬼滅の刃」の演出・出演も手掛けるなど、多彩に活躍する野村萬斎親子による大人気の狂言公演シリーズ。毎年完売必至の公演を今年もりゅうとびあ能楽堂で開催します。「笑いの芸術」とも言われる狂言で、笑いの感性を大いに刺激してください。大人気の公演をどうぞお見逃しなく！



野村万作

野村萬斎

野村万作・萬斎狂言公演
■2023.2.11(土・祝)13:00・17:00開演 ■能楽堂

歌舞伎の傑作を注目の劇団が上演！ 現代演劇×歌舞伎の化学反応にご期待ください！

歌舞伎を現代に置き替え上演し注目を集める木ノ下歌舞伎が、待望のりゅうとびあ再登場！パリで「勸進帳」を上演するなど活躍の幅をさらに広げています。脚本・演出に国内外で活躍するチェルフィッチュの岡田利規を迎え、鶴屋南北の代表作「桜姫東文章」に挑みます。出演は活躍中の若手演技派の成河と石橋静河が決定！どうぞご期待ください。



木ノ下裕一(監修・補綴) 岡田利規(脚本・演出)



成河(出演)

石橋静河(出演)

木ノ下歌舞伎「桜姫東文章」
■2023.2.26(日)13:00開演 ■劇場

大人も、こどもも。 目にみえる?みえない?不思議な舞台

マイムをベースにした洗練された動きにより想像力を刺激していく不思議な舞台。『ドン・キホーテ』(2021年1月)につぐ、デラシネラこども古典名作劇の第2弾です。シンプルな舞台装置がスピーディーに展開する、大人も子どもも楽しめる素敵な作品です。



「はだかの王様」初演(高知県立美術館2021)

カンパニーデラシネラ こども古典名作劇『はだかの王様』
■2023.1.14(土)15:00開演 1.15(日)11:00・15:00開演
■劇場(特設ステージ)

皆さまのリクエスト投票により上演演目が決定！ 栄冠に輝いたのは能「葵上」

2022年の今年、4人の能楽師による能楽講座「能楽師に聞く 能の楽しみ」がいよいよ10周年を迎えます。今や国内外の多くの舞台で活躍する能楽師へとパワーアップした能楽師4人組。開講10周年を記念し、その4人を中心とした能楽公演を開催します。上演演目は過去に講座でご紹介した10曲の中から、皆さまにリクエスト投票いただいた「葵上」に決定！10周年を記念したスペシャルな能「葵上」をどうぞお楽しみください。



能「葵上」

「能楽師に聞く 能の楽しみ」10周年記念 リクエスト能「葵上」
■2023.2.23(木・祝)13:30開演 ■能楽堂

今年もやります、聴かせます！ 珠玉の話芸をどうぞお聴き逃しなく!!

落語のみならず、執筆活動やドラマやバラエティ番組の出演、ジャズ演奏、オーケストラの指揮、プロデュース公演など、あらゆるジャンルにてその才能を発揮している春風亭小朝。2015年に芸術選奨文部科学大臣賞、2020年春には紫綬褒章を受章するなどその実力は計り知れません。一瞬にして劇場を笑いと感動の渦に巻き込む至芸は必聴です。現代の落語界で人気・実力ともに当代随一の花形落語をぜひお聴きください！



春風亭小朝 独演会 第二十三回公演
■2023.3.30(木)19:00開演 ■劇場



偏愛、 Noism

NoismファンがNoism愛を語るコーナー。笹だんごでおなじみ、田中屋本店の田中社長に聞いた「経営者の視点から見たNoism」、実に興味深いです！

vol.11 田中雅史さん

(株)田中屋本店代表取締役社長。りゅーとびあ開館当時の東響新潟定期会員でNoism支援会員でもある。ブログでは自身で撮影した新潟の風景を紹介。

カンパニーの運営は
中小企業の運営に
似ていると思うんだよね

円熟していくNoismを 「同志」として応援。

挑戦を続ける
姿勢がすごい



撮影：篠山紀信

見続けて 感じる変化

Noism創設当初は超人的な動きを超人的な体力で踊り切っていた印象だけど、今は指先まで意識が通っているような表現力にもすごく魅せられている。(金森) 穰さんも、振付家として自分のやりたいことが出てきたのかなと思うんだけど、ここ最近ではどの公演でも必ず踊るようになったよね。どちらもいい意味で年月を重ねたことでの変化かなって。これから円熟していくNoismが楽しみ。

経営者の 「同志」として

地方都市・新潟の小さなダンスカンパニー。言ってみればNoismは中小企業みたいなもの。僕は商売、穰さんは芸術と分野は違うけど、中小企業のリーダーとして共通するところはある。穰さんは今いる舞踊家たちで何ができるかを徹底的に考えて作品を練り上げるわけでしょ。自分たちのチームのポテンシャルを踏まえながら次々と世界に通じる作品を作るって、本当にすごいことだと思うよね。

新潟から世界へ！



撮影：村井 勇

舞台は 学びの場

お菓子は味が一番だけど、パッケージだとかお店の雰囲気だとかが総合的によくないと買おうと思わないでしょ。同じようにNoismも、踊りだけでなく、そこにいろんな要素が加わってひとつの作品になる。舞台芸術は舞台という枠の中で表現するもの。勉強家の穰さんは、そのなかで毎回あつと言わせるような仕掛けを考える。やれることは無限にあるんだっていつも思わせてくれるよね。我々商売人には勉強になることばかりだよ。

取材・文：霜鳥 彩 (ジョイフルタウン)

Next Performance

Noism0+Noism1 新作
Der Wanderer - さすらい人
2023.1.20(金)～2.4(土) スタジオB

>>> 詳しくは
りゅーとびあカレンダーへ

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismではレジデンシャル活動を支援してくださる企業・個人スポンサーを募集しております。詳しくは<https://noism.jp/support/>

撮影：篠山紀信

りゅーとびあ等をご利用いただく公演、 県内の公立文化施設の自主事業をご紹介します！

各公演記載のマークは下記のとおりです。

チケット取扱い：[A]りゅーとびあ2Fインフォメーション [B]新潟県民会館
[C]新潟伊勢丹 [D]ヤマハミュージックリテイリング新潟 [E]コンチェルト
[F]インフォメーションセンター えん(新潟日報メディアシップ1階)

本ページはりゅーとびあ利用団体等の広告ページです。広告のお問い合わせはりゅーとびあ広報営業課まで ▶ info@ryutopia.or.jp

11/5
(土)

越の風vol.11

現代作曲家が贈る新しい音楽の風

11月5日(土) 14:00開演(13:30開場)

Program

斎藤竜夫／ピアノのための小品 Pf:渡部乃亜
木下大輔／《女》《花屋で》(詩:吉原幸子) Sop:小山瑞美子、Pf:貝津摩理
小西奈雅子／「Fomalhaut」(フォーマルハウト) (初演)
Sax:田村亮太、Pf:渡部乃亜
後藤 丹／1.《小さな灯台への道》2.《小鳥と語るカザルス》3.《雪がふりだした》
Pf:樋口菜那
小西奈雅子／「おじいさんのお話し」 Vc:塚田紗弥、Pf:山田有莉
二宮毅／《音信(おとずれ)》 Ft:金子由香利、Vib:本間美恵子
遠藤雅夫／チャット ヴィオラとピアノのために (初演)
Va:庄司愛、Pf:若杉百合恵
後藤 丹／「チェロ小曲集」より《メロディ》《印度の虎狩》ほか
Vc:渋谷陽子、Pf:貝津摩理

りゅーとびあ スタジオA

全席自由 ¥3,000 小中高生 ¥2,000

(当日¥500増、小学生未満無料)
チケット取扱い:[A][C][E][F]



主催・お問い合わせ TEL 025-386-4975 / n.koshinokaze@gmail.com

11/26
(土)

柏崎市文化会館アルフォーレ10周年記念／柏崎古典フェスティバル2022

アルフォーレ特選寄席

立川志の輔 独演会

各地公演での話芸や映画・テレビ等、多ジャンルでの活躍、万人周知の落語家・立川志の輔を迎えての独演会。現代と古典がオーバーラップする部分を鋭い時代感覚で自身の芸風に仕上げた創作落語と、見事に練り上げた古典落語とで構成されている「志の輔落語」の世界を存分に堪能ください。

11月26日(土) 14:00開演(13:15開場)

柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール

全席指定 ¥3,500 ※未就学児入場不可

■出演:立川志の輔 ほか

チケット取扱い:柏崎市文化会館アルフォーレ、セブンチケット

主催・お問い合わせ 柏崎市文化会館アルフォーレ、古典を活かした柏崎地域活性化事業
実行委員会 TEL 0257-21-0010



12/10
(土)

2ndアルバム「stardust」発売記念ツアー最終章! ハルモニア クリスマスジャズコンサート

新潟を中心に活動するユニット「ハルモニア」。2022年を駆け抜けたライブツアーの最終章!

12月10日(土) 19:00開演(18:30開場)

りゅーとびあ スタジオA 全席自由 ¥2,000
(未就学児無料、小～中学生 ¥1,000)

■出演:伊佐瞳(バスケットリネット)、斎藤伸宜(ピアノ)
ゲスト/五十嵐誠(ベース)、藤島玲子(パーカッション)

チケット取扱い:[A][E]

<https://harmonia.localinfo.jp/>



Program
オリジナル曲やジャズのスタンダードナンバー、クリスマスにちなんだ曲をお送りいたします。

主催・お問い合わせ・ご予約 ハルモニア TEL 090-8330-3277(斉藤)



11/26
(土)

第20回 澤クワルテットコンサート ～疾走する悲しみから無垢なる喜びへ～

日本を代表する弦楽四重奏団、澤クワルテットが阪本奈津子を迎えて贈る第20回記念コンサート。

11月26日(土) 14:00開演(13:15開場)

長岡リリックホール コンサートホール

全席指定 ¥3,000

■出演:澤クワルテット
(澤和樹、大関博明、市坪俊彦、林俊昭)
阪本奈津子(第2ヴィオラ)

Program

モーツァルト／弦楽四重奏曲 No.3 ト長調 K.156
弦楽五重奏曲 No.4 ト短調 K.516
弦楽五重奏曲 No.3 ハ長調 K.515



主催・お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団 TEL 0258-29-7715

12/6
(火)

本間 優ピアノ・リサイタル ーオール・ベートーヴェンー

ピアニスト本間 優による2022年2度目のリサイタル。ピアノ作品の至宝「ベートーヴェン3大ソナタ」+1に挑む。

12月6日(火) 19:00開演
(18:30開場)

りゅーとびあ スタジオA

全席自由 ¥2,000

Program

ベートーヴェン／
ピアノ・ソナタ第8番(悲愴) Op.13 ハ短調
ピアノ・ソナタ第14番(月光) Op.27-2 嬰ハ短調
ピアノ・ソナタ第24番(テレゼ) Op.78 嬰ハ長調
ピアノ・ソナタ第23番(熱情) Op.57 ヘ短調



PassMarket



チケット取扱い:[A] PassMarket

主催・お問い合わせ 本間 優ピアノ・リサイタル実行委員会
hommayupiano@gmail.com TEL 050-3631-1621

2023 1/9
(月・祝)

小助川謙二 エレクトーンリサイタルVol.1

2023年1月9日(月・祝) 13:30開演(13:00開場)

りゅーとびあ スタジオA

全席自由 ¥2,000 高校生以下 ¥1,000 (当日¥500増)
未就学児無料(要事前申込)

チケット取扱い:[A][D]



こちらからも
お申し込み
いただけます。

Program

イギリス民謡／ロンドン橋序曲
E.エルガー／威風堂々第1番
A.メンケン／「美女と野獣」メドレー
小助川謙二／永劫の伝え～「こきりこ」の主題による幻想曲～ ほか



主催・お問い合わせ 小助川謙二 エレクトーンリサイタル実行委員会
TEL 090-6274-5685(小助川) / kenji.kosukegawa@gmail.com
後援 (株)ヤマハミュージックリテイリング 新潟店

「5台ピアノの世界」のコンサートができるまで!

3年前、最初で最後と思いつつ開催した「5台ピアノの世界」。カワイ、スタインウェイ(2台)、ベーゼンドルファー、ヤマハと、各メーカー最高級のグランドピアノが5台もステージに並ぶ様子は圧巻!企画も準備も壮大な当公演の“本番を迎えるまで”をご紹介します。

曲はどう準備するの?

How do you prepare the music?

5台ピアノ用の作品や楽譜は世の中にほばないため、新曲委嘱や編曲委嘱を作曲家に行くことから企画がスタート。今回特に注目なのは、気鋭の作曲家・加藤昌則氏に委嘱した新曲「Five Kings」の世界初演。貴重な場にぜひお立ち会いください!



▲5台ピアノ用に編曲した楽譜

ファイブ・キングス

家・加藤昌則氏に委嘱した新曲「Five Kings」の世界初演。貴重な場にぜひお立ち会いください!

リハーサルはどこで行うの?



▲6月に行われたリハーサル

東京では合わせの場所がないため、6月・9月(中旬)・9月(下旬)・10月と、2泊3日のリハーサルをりゅーとびあで計4回開催。本番と同じ会場で何度も練習することにより、アンサンブルの精度も格段に高くなります。

Where are rehearsals held?



How do you tune them?

どうやって調律するの?



▲調律師の石川正行さん(右)と、ピアニストの田村 緑さん(左)

5台すべてにおいて音程に微妙な誤差が生じないよう、2日間かけて全5台をなんと一人の方が調律します。調律師にとっても、気の遠くなるような企画です。

鍵盤楽器によるアンサンブルの難易度は筆舌に尽くしがたく、名手5人だからこそ、さらには新潟で延べ12日間もの日数をリハーサルに費やすからこそ、圧倒的なクオリティになります。ぜひご来場ください!

りゅーとびあ室内楽シリーズNo.46「5台ピアノの世界」
[日時] 10.22(土) 14:00開演 [会場] コンサートホール
[出演] ピアノ・ツルクス
S ¥4,000 A ¥3,000 B 売切 U25 ¥1,500



はじめての観劇!

～演劇初心者の方へ～

演劇企画課のMさんに聞きました!

「劇場へ足を運び、生で芝居を観てみたい!」そう思い立っても、演目選びなど初心者の方には不安や疑問が尽きません。そこで「初めて芝居を観に行く」というハードルを越えるためのヒントを、演劇企画課スタッフのMさんに聞きました。

演劇企画課／Mさん

演劇、能、落語などの公演を担当。演劇は観るのも演じるのも好きで、過去には高校演劇やアマチュア演劇の経験も



ヨーロッパ企画
『あんなに優しくったゴーレム』

[日時] 10.18(火) 19:00開演
[会場] 劇場
全席指定 ¥5,500
U25 ¥2,500

Q1 初めての観劇は?

子どもの頃、演劇好きな父に誘われて行った『森は生きている』です。カラフルな衣装を纏った12人の月の精たちが、歌い踊りとにかく楽しい舞台で。臨場感溢れる役者さんたちのセリフ・動き・表情を観るうちに、どんどん物語に引き込まれました。

Q2 観劇にハマったきっかけは?

大学時代に「東京で芝居を観てみよう」と思い立ち、テレビで見た鴻上尚史さん主宰の「第三舞台」を選びました。そこで 夢のような時間を過ごし「人生最高の経験だ!」と感じて。小劇場で観たので、役者の生声の余韻にも震えました。その後はキャラメルボックスなど他劇団にもハマリ、下北沢にある本多劇場、駅前劇場、ザ・スズナリなどに通いました。

Q3 演劇初心者の方へオススメ公演は?

ヨーロッパ企画の『あんなに優しくったゴーレム』です。年に一度の本公演ツアーでは、毎回1万人以上を動員する超人気劇団。現代に蘇った「8時だヨ!全員集合」かと思うほどに抱腹絶倒のストーリー、テンポの良いセリフ回し、奇想天外な舞台美術は生で観てこそ。演劇初心者の方には打って付けですので、ぜひこの公演で観劇デビューを果たしてください!



りゅーとびあ専属オルガニスト・石丸由佳の

オルガン武者修行!

北欧とドイツの2つの大学に籍を置いていた期間は、両方の授業に電車で通学されていた石丸さん。デンマークからドイツへ向かう電車の中で、突然「降りてください!」とのアナウンスが! 一体、何があったのでしょうか?

文・写真提供: 石丸由佳



▲フェリーの中に停車中の電車。



▲ドイツで師事した
ルドガー・ローマン先生

プロフィール

石丸由佳 ISHIMARU Yuka

新潟市生まれ。りゅーとびあで初めてパイプオルガンに触れたことがきっかけでプロの道へ。10か国100か所以上でのコンサートを経て、今に至る。



電車でまさかの緊急事態発生!?

今振り返ると目まぐるしい留学生活…。

デンマーク、スウェーデンに続いてドイツ・シュトゥットガルトの音大でも勉強することになった私。北欧とドイツの2つの大学に籍を置いていた期間は両方の授業に電車で通っていた。片道11時間! その何往復かで、引越しも一人でしてしまおうと考えた私は、毎回大量の荷物を持って電車に乗り込みます。(今ならもっと他の賢い方法を考えてと思います…) 初回、何も知らずにドイツ行きの切符を握りしめて電車に乗っていると、「全員降りてください!」とのアナウンスが。緊急事態か!? と焦りながらも電車を降り、他の乗客の後をついていくと、そこはフェリーの中。混乱する私。

デンマークとドイツは陸続きの所もありますが、コペンハーゲンからの近道はどうしても海を渡らねばならないルートです。私が乗っていた電車はまるごとフェリーの中に入り、海を渡るとまた陸を走り出す「渡り鳥ライン」というものでした。フェリーでは海を見ながら食事や買い物ができます。状況を理解して以来、お気に入りの旅路となりました。(このルートは2019年に廃止となったそうです。悲しい…)

それゆけ園芸部!

～りゅーとびあの庭へようこそ～



1. 夏は花の種類が多く、生育が旺盛。雑草を抜き、咲き終わった花を根元から切り戻して次の芽の生育を促します。
2. 停電後そのまま灌水タイマーが作動していなかった、なんてことも。夏の水切れは命取りです。
3. 虫に食われてないか、葉の裏を入念にチェックします。

屋上庭園や能楽堂の中庭などの花や木々を見守り、お世話している「りゅーとびあ園芸部」。その主な活動は月2回の休館日に行っています。今回は、とある7月の休館日の活動をご紹介します。

まず、屋上全体を調査します。咲き始めた花を記録し、おかしいところがないかチェックします。水切れしないよう水やりシステムの動作確認をします。次に能楽堂の竹庭です。昨年植え増した竹が順調に育っていました。見たことのない虫が葉に付いていたので害虫かどうか調べて対策を考えます。猛暑の7月、水分補給しながら無事に活動を終えました。



施設・利用課／Sさん
園芸部リーダー。趣味の庭いじりを業務にいかして活躍中。出勤日はほぼ屋上庭園に上がる。育てた花にSNSでたくさんの「いいね!」が付くことが何よりの励み。

色鮮やかな夏の花が咲きました

深紅色のモントブレチア

お世話の甲斐あってか、初めてたくさん花を付けてくれました。



優雅で美しい・アガパンサス

子どもの顔ほどに大きく咲いた花は、涼やかな花火のよう。草丈1メートルと見応え十分!



PICK UP!

日本経済新聞土曜朝刊別刷「NIKKEIプラス1」の「何でもランキング」において、「屋上庭園で味わう緑の別世界」部門の第6位にりゅーとびあの屋上庭園が選ばれました!